

【方向性5】文化や産業に革新的イノベーションが起きる仕組みをつくる ～新しいもの、ことを生み出すまち～

具体目標	行動	取組例
1. イノベーションが起きやすい条件と要素をみつめる	①金沢の強みである文化を知って磨く	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな文化的な催しやイベントに出かける。普段行かないものにも行ってみる ●金沢が磨いている要素（生活文化、工芸、茶道、建築景観、自然など）を理解する ・文化に関するデータベースをつくる
	②いろいろな市民がテクノロジーを理解する	<ul style="list-style-type: none"> ●テクノロジーリテラシー教育を実施する ●オープンデータを使った市民による社会変革プロジェクトを立ち上げる ・オープンガバメントを推進する（行政情報をオープンにし、市民が政策決定への参加を促進する統治の考え方）
	③感性豊かな人を育む	<ul style="list-style-type: none"> ●自然に触れる機会をつくる ●おしゃれして出かける ・鈴木大拙、西田幾多郎など哲学を学ぶ機会を増やす ・五感を活かす教育プログラムを開発する
	④お金の循環を作る	<ul style="list-style-type: none"> ・イノベーション投資が起きやすい仕組みをつくる ・スタートアップ支援を充実する ・クラウドファンディングの文化を浸透させる
	⑤挑戦を応援し、失敗からの学びを賞賛する風土をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ●学校への起業家派遣や起業家育成プログラムを提供するなど、起業家教育を行う ・アントレプレナーシップを尊重する
2. イノベーションのエコシステムを形成し化学反応を起こす	①多様な人や企業が交わる「場所」をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ●ITビジネスプラザ武蔵、価値創造拠点をハブとする新しいビジネスモデルを作る ・パブリックスペースを、市民が集いやすいような魅力的な空間にする ・マイカーを使わなくても行けるよう、公共交通や歩ける環境を充実する
	②多様な人の出会いを促進させる「機会」をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ●人をつなぎ、場を作る触媒となるコーディネーターを発掘し育成する ・市民が生活文化を講義する市民文化講座「百万石大学（仮称）」を開講する ・金沢に来た人と、金沢の人が交流できるイベントを開催する ・大人のインターンシップ制度を促進する ・地域のコミュニティ活動に積極参加する
	③企業がSDGsを取り入れる	<ul style="list-style-type: none"> ●社会課題を全体で解決するバックカスティング思考をイノベーションのエンジンにする ・異業種ハッカソンやビジネススクールに企業が積極的に参加する
	④気軽に出入りし滞在できるまちにする	<ul style="list-style-type: none"> ●簡易宿所やアーティスト・イン・レジデンス施設など、滞在しやすく持続可能なツーリズムモデルをつくる ●短期利用できるレンタルオフィス、コワーキングスペースをつくる
	⑤世界と直接つながる	<ul style="list-style-type: none"> ●世界規模の工芸見本市を開催する ・KOGEIを世界に発信し、金沢がハブになる ・世界的権威を招聘し、グローバルスタンダードを理解する
	⑥創造的人材（職人、芸術家、エンジニア等）に敬意を払うまちにする	<ul style="list-style-type: none"> ●創造的な仕事に正当な対価を払う ●創造的人材が自分の力で事業継続できるよう支援する ・長期滞在の宿泊優遇やアーティストインレジデンスをすすめる